

ふれあい報告書[®]2007

ワタミグループ CSR報告書

データ集

WATAMI[®]



ワタミ株式会社
東京都大田区羽田一丁目1番3号 (〒144-0043)
お問合せ先TEL(03)5737-2784 FAX(03)5737-2793
ワタミふれあいホームページ <http://www.watami.co.jp>

※本報告書掲載のワタミグループ各社および関連団体のホームページには、「ワタミふれあいホームページ」からアクセスできます。



本報告書は、用紙はFSC認証材およびリサイクルされた木材や木材繊維から製品化されたFSCミックス認証紙を用い、インキには有害なVOC（揮発性有機化合物）を排除しほぼ100%植物油を材料としたベジタブルインキを使用、印刷方式には強いアルカリ現像液を使用しない氷なし印刷を採用しています。また本報告書はISO14001認証取得工場印刷しています。

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI[®]

■この冊子（ふれあい報告書2007データ集）をお読みいただくにあたって

本冊子「データ集」は、「ふれあい報告書2007」の補足資料として、「WEB掲載」と記載されている項目を冊子としたものです。本冊子の「対象範囲」「対象期間」については、本紙「ふれあい報告書2007」と同様です。

目次

CSR指標	P 3
ワタミヘルプライン概要	P 4
想定される主なリスク	P 4
●お客さまとともに	
有機野菜および特別栽培農産物納入量の比率	P 4
有機加工食品および有機農産物を使用した加工食品一覧	P 4
原産地表示について	P 5
商標権に対する留意	P 5
アレルギー表示について	P 5
車イス対応トイレが設置されている店舗一覧	P 5
イオンバリア設置店舗数の推移	P 5
様々な視点から店舗チェックを実施	P 5
○特集：ワタミの海外の外食	
和民中国・三商和民の従業員の推移	P 6
「T.G.I. Friday's」 Guam店でのふれあい	P 6
ワタミカフェ・ワタミコーナー・ワタミ農園	P 6
農場面積の推移	P 6
ワタミグループの農場で栽培している野菜	P 6
●お取引業者様とともに	P 6
ポジティブリスト制度に関する説明会の開催	P 6
●従業員とともに	
介護事業の教育研修内容	P 7
農業分科会の開催	P 7
2006年インターンシップの実施	P 7
労働災害発生の原因	P 7
●地域社会とともに	
ボランティア研修参加人数・訪問施設数	P 7
お食事会実施回数・参加社員人数・招待人数	P 7
おもちゃの代行販売店舗数と売上	P 7

社名表記について

本報告書ではグループ会社の社名を略称で記載しています。

- 基本となる国内連結子会社12社を「ワタミグループ」または「ワタミ」と表記していますが、「環境とともに」では、ワタミ(株)およびワタミフードサービス(株)、ワタミダイレクトフランチャイズシステムズ(株)、(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパンの国内外食企業3社、ワタミエコロジー(株)の5社を「ワタミグループ」、または「ワタミ」と表記しています。対象が異なる場合は、該当する会社を記載しています。
- 「ワタミフードサービス(株)」を「WFS」、
「ワタミダイレクトフランチャイズシステムズ(株)」を「WDFS」、
「(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパン」を「T.G.I.F.J」と表記しています。
- (株)ワタミファーム、(有)ワタミファーム、(有)当麻グリーンライフに関する記載を「ワタミファーム」と表記しています。
- ワタミの介護(株)を「ワタミの介護」、
ワタミエコロジー(株)を「ワタミエコロジー」と表記しています。
- 和民(中国)有限公司、和民餐飲(深圳)有限公司を「和民中国」、
三商和民股份有限公司を「三商和民」と表記しています。

< 将来の予測・目標について >

本報告書には、ワタミグループの過去と現在の事実だけでなく、将来の予測・目標なども記載しました。しかしながら、これらの予測・目標は、記述した時点で入手可能な情報ないし判断であり、リスクや不確定な要因を含んでいます。

したがって、将来に生じる様々な要因により活動結果が、本報告書に記載した予測・目標と異なる可能性があります。読者の皆様には、以上のことをご理解いただけますようお願いいたします。

発行日 2007年9月(次回発行：2008年9月、前回発行：2006年9月)

お問い合わせ先

ワタミ株式会社(社長室)
東京都大田区羽田一丁目1番3号(〒144-0043)
TEL (03) 5737-2784 FAX (03) 5737-2793
ワタミふれあいホームページ <http://www.watami.co.jp>

ワタミのCSRの考え方

CSR指標

ワタミグループでは、CSRへの取り組み状況を定量的・継続的に把握するためにCSR指標を算出しました。財務面における指標だけでなく、各ステークホルダーに対して目標値を設定しています。主な指標を各対象(範囲)ごとについて掲載します。

■CSR指標

対 象	範 囲	項 目	2006年度	2007年度目標・方針 注11)
連 結	グループ 注1)	売 上(連結)注2)	98,411百万円	106,800百万円
		経常損益(連結)注2)	4,111百万円	4,890百万円
		R O C	8.84%	25%(2010年度目標)
	外 食 注3)	店 舗 数 (※)	627店舗	642店舗
介 護	農 業 注3)	ホ ー ム 数 2007年2月末	21ホーム	31ホーム
		農 場 面 積 (※)	488.5ha	現状維持
単 体	ワタミ(株)	売 上	38,595百万円	42,100百万円
		経常損益	947百万円	1,260百万円

お 客 さま	外 食 注3)	客 数	38,515千人	安定的な拡大	
			WFS	66.9%	週間80%以上
			WDFS	63.7%	週間80%以上
			T.G.I.F.J	79.1%	週間80%以上
			和民香港	59.8%	
	和民深圳	51.4%			
	和民台湾	49.5%			
	介 護		81.9%	週間100%	
	環 境		87.3%	月間80%以上	
	外 食 注4)	グループ 注5)	分煙対応店舗 (※)	267店舗	新規店舗導入
有機・特裁納入比率			34.9%	37.0%以上	
有機加工物の使用			658.5t	714t	
		添加物の削減	300kg	1,000kg	
株 主 様	ワタミ(株)	配 当	10円	安定配当の維持 敏速な情報開示	
		株主数 (※)	73,898人		
		発行済株式総数 (※)	41,502,780株		
		個人株主の持株数比率(役員・従業員除く) (※)	36.5%		
お 取 引 業 者 様	ワタミ(株)	環境への取り組み説明	新規お取引業先(7社)に説明を実施	新規お取引業者様に対する説明実施	
	農 業	有機農業生産者との交流会	61人	現状維持	
従 業 員	グループ	社員数 (※) 2007年4月1日時点	3,152人	新卒で460人の採用	
		パート・アルバイト数 (※) 注6)	10,966人	安全な労働環境の構築	
		女性社員比率 注7)	27.5%	男女差別のない環境の維持	
		グループ障がい者雇用比率 (※) 注7)	1.8%	1.8%以上	
		理念研修参加率	100%	100%の維持	
地域社会	グループ	ボランティア参加人数(率) 注8)	1,598人(100%)	全社員ボランティア参加	
		NPO(SAJ)支援 注1)	8,467千円		
環 境	外 食 注4)	1店舗あたりCO ₂ 排出量 (※) 注9)	116t-CO ₂	前年対比で2%削減	
		1店舗あたり水道使用量	4.1千m ³	前年対比で2%削減	
		1店舗あたり廃棄物排出量	16.1t	現状維持	
		1店舗あたり電気使用量	25.0万kWh		
		全廃棄物リサイクル率 (※) 注10)	30.6%		35%の達成
		食品廃棄物リサイクル率 (※) 注10)	21.7%		28%の維持

■本指標の対象期間は、2006年4月1日～2007年3月31日まで ■表中の(※)印は、2007年3月末時点の値

注1) 対象は、ワタミ(株)および連結子会社16社 注2) 「グループ」の売上・経常損益は、連結決算、売上は消費税を含まない 注3) 対象「外食」は、WFS、WDFS、T.G.I.F.J、和民中国、三商和民、WATAMI USA GUAMの7社合算。「農業」は、(株)ワタミファーム、(有)ワタミファーム、(有)当麻グリーンライフの3社合算 注4) 対象は、WFS、WDFS、T.G.I.F.Jの3社 注5) 対象は、国内企業12社 注6) 対象は、ワタミ(株)および連結子会社16社、社員数は就業人員、パート・アルバイト数は、対象期間の平均雇用人員(1日1人8時間換算) 注7) 対象は、グループはワタミ(株)、WFS、WDFS、ワタミの介護の4社 注8) 対象は、ワタミ(株)、WFS、WDFS、T.G.I.F.J、(株)ワタミファーム、(有)ワタミファーム、ワタミエコロジーの7社 注9) 水道・ガス・電気使用量をCO₂換算(対象は、国内外食3社) 注10) 全廃棄物リサイクル率は、店舗で発生する全廃棄物に対するリサイクル比率。食品廃棄物リサイクル率は、店舗で発生する生ゴミ・廃油に対するリサイクル比率(対象は国内外食3社) 注11) 目標・方針は2007年6月現在のものです。(■昨年度(2005年度)のCSR指標は、ホームページのふれあい報告書をご覧ください。)

ワタミのCSRの基盤

ワタミヘルプライン概要



もし思い当たることがあれば
窓口へEメールにて
ご連絡ください。

■受付体制

- ワタミグループ企業の
法令・契約違反
不当な要求や地位の濫用
店舗で使用する食材の品質にかかわること
 など、私たちが社会の信頼を失う可能性のある内容について、Eメールによる情報提供をお願いしております。

■2つの約束

- 守秘義務の約束
情報提供に際しては、「情報のご提供は実名」が原則となっております。ワタミグループ内部の「ヘルプラインプロジェクト」とインテグレックス社の「ヘルプライン」は、通報者の秘密を守ります。
- 報復禁止の約束
通報者がヘルプラインに情報を提供することでワタミグループから報復を受けることはありません。

■受付窓口

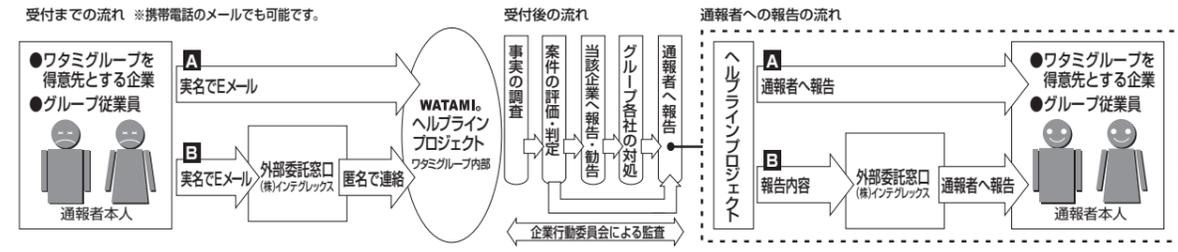
- Eメールの受付窓口は2つあります。
 ●グループ内窓口は、社内独立組織の「ヘルプラインプロジェクト」がメールを受け付け、対応します。
 ●外部委託の窓口は、(株)インテグレックスに設置されており、通報者の所属や氏名などを伏せてワタミ社内の「ヘルプラインプロジェクト」に情報が提供されます。

※インテグレックス社は、企業の社会責任を支援する会社で、連絡者とワタミグループの間に入り中立性を維持します。法令上の義務を負う場合を除き、本人の了解なく氏名などがワタミ側に情報提供されることはありません。

ヘルプライン受付アドレス ※Eメールアドレスへは携帯電話からのメールでも可能です。

Aワタミヘルプラインプロジェクト w-helpline@watami.net

B(株)インテグレックス(外部委託会社) w-helpline@integrex.jp
インテグレックスホームページ <http://www.integrex.jp>

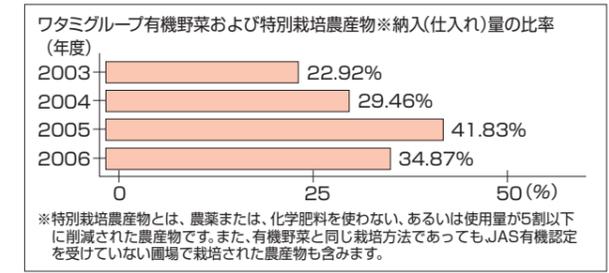


想定される主なリスク

リスク種類	カテゴリー	項目
経営リスク	製品	衛生管理
	生産	生産拠点の崩壊、仕入れ単価高騰
	知的財産権	著作物・商標侵害
	雇用	差別、役員・従業員の不祥事
	法務	会社法・金融商品取引法 食品衛生法・風俗営業法
	資産運用	不良債権・貸倒れ
	投資	企業買収、敵対的買収
政治・経済・社会リスク	信用	情報管理の不備、顧客情報漏洩
	政治	法律の制定、制度・税制改正
	経済	景気変動、為替・金利変動
災害・事故などのリスク	社会	戦争・テロによる社会的混乱
	自然災害	異常気象、地震、風災など
	事故	火災、交通事故

お客さまとともに

■有機野菜および特別栽培農産物納入量の比率



■有機加工食品および有機農産物を使用した加工食品一覧

有機加工食品および、有機農産物を使用した加工食品使用一覧 (2006年度)		
有機寄せ豆腐	有機だいず水煮	有機レモン果汁
有機木綿豆腐	有機おでん大根	有機切り干し大根
有機ことうや豆腐	有機玉こんにゃく	有機こし水ようかん
有機醤油	有機生いもこんにゃく	有機小倉水ようかん
有機豆乳	有機突き出しこんにゃく	有機抹茶水ようかん
有機納豆	有機カットこんにゃく	有機寝巻そば
有機みそ 赤	有機薄切りこんにゃく	有機トマトジュース
有機みそ 白(2種)	有機手綱こんにゃく	有機吟醸甘酒
有機絹生揚げ	有機さといもペースト	有機さつまいもを使用した焼酎
国産有機オカラ	有機じゃがいもフライ	有機米を使用した日本酒

■原産地表示について

ワタミグループでは2006年1月より、料理の主な食材(ソースや調味料除く)について原産地を明確にする取り組みを開始しました。食材の原産地は、同じメニューであっても季節により異なります。そのため外食店舗においては「和民」「坐・和民」「和み亭」「然の家」「わたみん家」「ゴハン」「japago」「T.G.I.F」の各店舗にてメニューブックには表記していませんが、常に更新された原産地一覧表を店舗ごとに保管しており、お客さまからお問い合わせがあった際には回答できる体制を整備しています。また介護施設においてもホームで使用されている食材の原産地が記載された一覧図がホーム内で掲示されています。

■商標権に対する留意

メニューブックに表記する商品名については「商標権」などにも留意し、他社の権利を侵害することのないようチェックを徹底しています。特にオリジナル性の強い商品名については、第三者の権利を侵害していないことを調査し、決定しています。2006年度は「著作権に関する基礎知識」および「商標に関する基礎知識」などガイドラインを発行し、グループ各社、各部署担当者向けに説明会を開催しました。

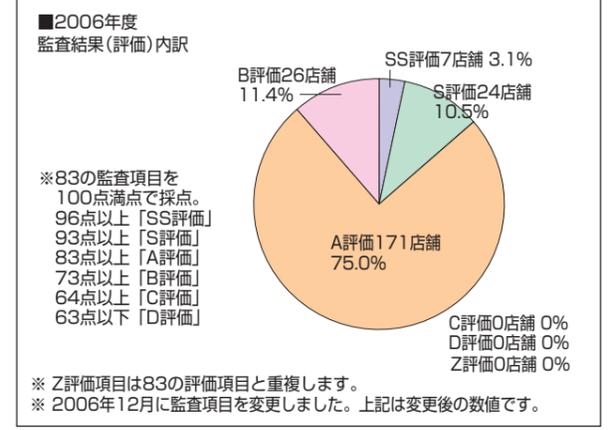
■アレルギー表示について

ワタミグループでは、特定原材料(※)の使用の有無についてはメニューブックには表記していませんが、外食店舗においては「和民」「坐・和民」「和み亭」「わたみん家」の各店舗にてメニューブックには表記していませんが、最新の情報が記載された一覧表を店舗ごとに保管しています。※特定原材料…アレルギー発生頻度が高く、その症状が重篤であるとされる「小麦・乳・卵・そば・落花生」の5品目。

■様々な視点から店舗チェックを実施

●店舗監査

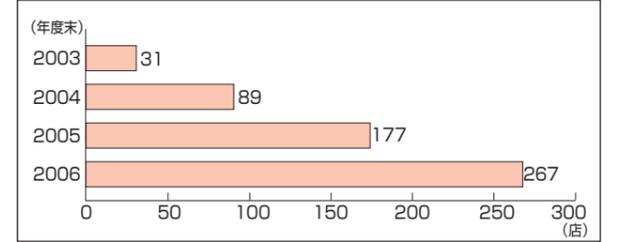
お客さま満足の向上を目指して、内部監査(抜き打ち監査)を実施しています。店舗運営業務の執行と完全に分離された監査室が、店舗運営の状況を、6つのテーマ「理念(企業倫理)の浸透、サービスの品質、料理の品質、ホールの清掃状況、キッチンの清掃状況、マネジメントシステムの定着」と83の監査項目に沿って行うことで、店舗のスタンダードを確認しています。2006年度は、外食店舗の全国出店に合わせて監査室の人員を1名から2名体制に増員し、延べ655回の監査を実施しました。なお、監査項目の中から「消防法に関わる重大な過失」など、特に重要な13項目を「Z評価」対象項目としています。Z評価が出た場合は、各担当者より、ワタミ(株)社長およびその外食業態を運営する各社長にその場で報告され、緊急に措置が行われます。2006年度のZ評価対象店舗はありませんでした。



■車イス対応トイレが設置されている店舗一覧

- (2007年8月現在)
- 「和民」: 中目黒店・武蔵中原駅前店※・南海難波駅前店※・千日前店※・菊川駅前店・光が丘IMA公園通店※・千葉都賀店・足立谷中店・青梅店・東村山店
 - 「坐・和民」: 紙屋町店・京阪京橋片町口店・伏見桃山店・博多都ホテル店・長崎銅座店※・立川南口店・広島駅南口店※・西中島南方店
 - 「居食屋[和み亭]」: 大宮日進店・鹿島田店・新江古田駅前店・大鳥居店・西船橋店・和光店・武蔵境店・福生店・府中若松店・海老名中央店・天王町店
 - 「ファミリーコミュニティレストラン[和み亭]」: 越谷南町店・武蔵野開前店
 - 「わたみん家」: 広島駅南口店※
 - 「T.G.I. Friday's」: 品川パシフィック店※・MM21クロスゲート店※
- ※テナント出店のため、共同トイレに設置

■イオンバリア設置店舗数の推移



●お取引業者様による店舗チェック (ミステリーカスタマー)

2003年より、お取引先の従業員の方に、「お客さまとしてご来店」いただく制度を導入。よりお客さまに近い視点での評価48項目と総評をいただいています。2006年度は、延べ240回の店舗チェックを実施していただきました。

●本部社員による店舗チェック (SIP:スタンダード・インポート・パトロール)

店舗のスタンダード(標準)を再確認することを目的として、本部社員によるSIPを各店、原則年2回(※)実施しています。日程およびチェック項目を事前告知し、環境活動を含めた店舗サービス・料理の品質等を再確認しています。2006年度は延べ1,101回実施されました。2006年度は、既存店の強化や店長教育を目的に、エリアマネージャーによる事前チェック欄をSIPシートに設けました。これによりエリアマネージャーが事前に確認、店長との基準の刷り合わせが確実に実施されるようになりました。また日頃、現場から離れている本部社員が店舗社員と交流することで、問題を共有化していくという面でも大変有効な手段となっています。※新規オープン店舗についてはSIP開始時点でオープンしている店舗を対象とします。

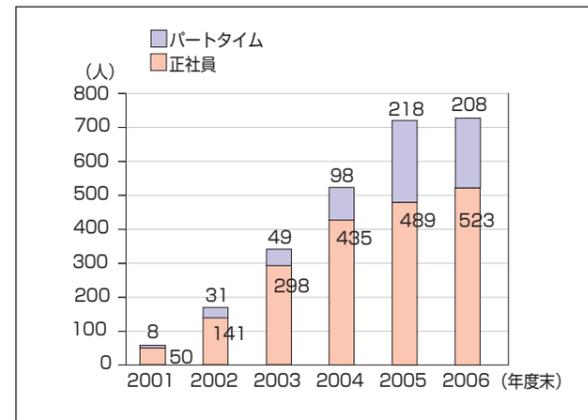
●株主様による店舗チェック

ワタミでは株主様からも、店舗運営状況についてご意見をいただきたいと考え、毎年2回、株主優待券および、ご利用いただいた際に感想を記入していただく「株主様アンケート」を郵送させていただいています。2006年度上半期は1,802通、下半期は2,573通のご回答をいただきました。(外食店舗に対するご意見の内訳)

- サービス…10.9%
- 料理の味…9.2%
- 提供時間・温度など…4.7%
- 内装・備品…1.6%
- 価格…3.7%
- メニュー提案…20.1%
- その他…49.8%

特集：ワタミの海外の外食

和民中国・三商和民の従業員の推移



「T.G.I. Friday's®」グアム店でのふれあい

「T.G.I. Friday's®」グアム・タモン店では、1980年に設立された非営利のボランティア団体「Make A Wish Foundation」の主旨に賛同し、難病と闘っている子どもたちを店舗にご招待する「お食事会」を開催しています。

「Make A Wish Foundation」は、18歳までの難病の子どもたちの夢を叶え、生きる力や病気と闘う勇気を持ってもらうことを目的とし、アメリカ国内で77カ所、世界中で27カ国に支部を置いて活動しています。

2006年度はお食事会を不定期に2回開催し、難病と闘う子どもたちとそのご家族の方々に、「T.G.I. Friday's®」グアム・タモン店でのひとときを過ごしていただくことができました。

またお子様用デザートの販売促進を行った際には、1つのデザートをご注文いただくごとに売上から1ドルを「Make A Wish Foundation」に寄付することを告知したメニューを制作し、デザートを販売しました。2006年度には約500個のご注文をいただき、総額500ドルを寄付させていただきました。



Make A Wish Foundationホームページ <http://www.mawj.org/>

ワタミカフェ・ワタミコーナー・ワタミ農園

●ワタミカフェ

ご入居者様にとって「小さなお出かけの場」として利用していただくため、またご家族様がいらっしゃった際に気軽にラウンジとしてご利用いただけるよう「ワタミカフェ」を各ホームに設置しました。

ワタミカフェでは有機のコーヒー豆から焙煎した有機コーヒーなどを提供しています。

●ワタミコーナー

ご入居者様・ご家族様に、私たちの介護への思いをご理解いただくために、各ホームに「ワタミコーナー」を設置しています。

ご意見をいただくために投函ポストを設け、いただいたお便りの一つひとつに返信しています。

●ワタミ農園

ご入居者様に、日に一度は外に出て、陽の光を浴び、風のそよぎ、鳥の声を楽しんでいただきたいとの思いから、全ホームに「ワタミ農園」を開設しました。

ご入居者様が、花々で彩られた庭園によって季節の移り変わりを楽しむことや、土づくりからこだわったハーブや野菜を栽培することが、「日に日に元気に」につながると考えています。

一部のホームでは車イスなどご不自由な方にも、農園の手入れや収穫を楽しんでいただけるようプランターを手の届く位置に配置、車イスのままでも通れる導線を確保するなど工夫を凝らしています。

農場面積の推移

年度	畑作 (ha)	酪農 (ha)	畜産 (ha)	計 (ha)
2002年	3.2	0	0	3.2
2003年	4	0	0	4
2004年	14	0	0	14
2005年	195.5	50	0	245.5
2006年	198.5	50	240	488.5

ワタミグループの農場で栽培している野菜

果菜類	ナス、カボチャ、トマト、ゴーヤ、ズッキーニ
葉菜類	ホウレンソウ、白菜、キャベツ、玉レタス、サニーレタス、ロメインレタス、ハンサムレッド、ハンサムグリーン、小松菜、水菜、バジル、空芯菜、ペピーリーフ、春菊、イタリアンパセリ
根菜類	大根、カブ、ニンジン、ジャガイモ、ラディッシュ、さつまいも

お取引業者様とともに

ポジティブリスト制度に関する説明会の開催

日本では2003年の食品衛生法の改正により、食品への農薬の残留基準が認定されていない農薬が残留する食品の流通を禁止するポジティブリスト制が導入され、3年以内の実施が義務づけられました。2006年度、ワタミファームでは、お客さまにより安全・安心な農産物をお届けすることを目的に、ワタミグループの野菜・米などを栽培しているお取引先農家の方々に集まっていただき、ポジティブ

リスト制度の内容・取り組みについて説明会を開催しました。また、自社農場の有機農産物については、近隣農家からの農薬飛散を避けるため、隣接圃場との境を明確にしたり、農家の方々とのコミュニケーションを図り、事前に農薬散布情報を得て対応策が取れるようにしています。また、農薬飛散が無いことを確認するため、残留農薬検査を一部農場でスタートしました。

従業員とともに

介護事業の教育研修内容

●ホーム長育成プログラム

ホーム長育成プログラムでは、ホーム長の人物像を明確にし、必要な能力要件を24ヶ月で身に付ける仕組みになっています。

6ヶ月ごとに4段階の研修期間を設け、それぞれの要所にOJTチェックを入れ、知識・技術・問題解決能力を、段階的にレベルを上げて習得します。

また、2006年度からは、中途入社で、一定以上の専門知識・技術を有しており上司からの推薦を受けている社員を対象として12ヶ月で習得する「速習コース」を設けました。

2006年度は、24ヶ月のコースを40名が、速習コースを49名の社員が受講しました。

●ケアマネジャー研修

ホーム運営基準を実現するケアプランの作成、介護の質の向上を目的としてケアマネジャー全員を対象とする研修を行っています。

「四大-0(ゼロ)の実現」や「すべての食事がおいしいこと」といった個別の運営基準をテーマに、ワタミの介護がご入居者様にお約束している介護の実現に向け、実際の事例からケアプラン作成のスキルを習得する研修を行っています。

2006年度は12回開催され、1回当たり約30名の社員が参加しました。

●排泄ケア研修

排泄ケア研修では、排出障害の原因や福祉用具に関する基礎知識を学ぶとともに、排泄ケアの状況は健康の維持・医療面とも密接な関連があることを学びます。

また、日常動作との運動性など運動機能のみならず、心理的・社会活動的な側面、生きがいづくりも含めた総合的なケアが必要であることを学んでいます。

2006年度は、2回開催され各50名の社員が参加しました。

農業分科会の開催

ワタミファームでは将来「農業に携わりたい」などの希望を持っているワタミグループの社員向けに、農業の勉強をする場を提供する目的で農業の勉強会である「農業分科会」を開催しています。

農業分科会はワタミファーム社長による有機農業に関する講話、瀬棚牧場直送の乳製品の試食、外食店舗での野菜の管理方法の説明などが行われています。

2006年度は計4回実施されました。

2007年度は計4回の開催を予定しています。

地域社会とともに

ボランティア研修参加人数・訪問施設数

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
参加社員人数	174	295	249	280	443
訪問施設数	40	52	74	74	34

お食事会実施回数・参加社員人数・招待人数

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
実施回数	32	33	16	18	37
参加社員人数	556	761	380	449	425
招待人数	1,131	1,115	449	464	817

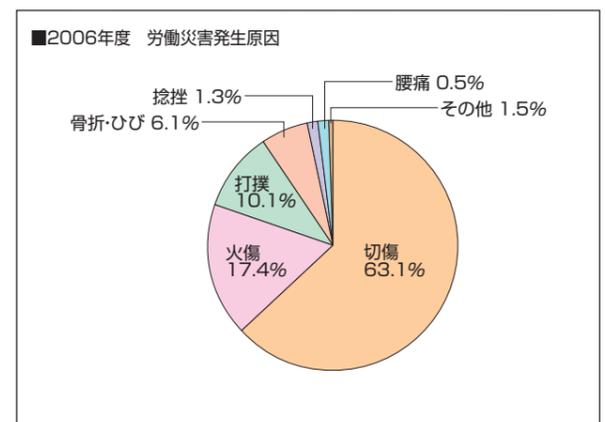
2006年インターンシップの実績

2006年度は、店舗勤務を主体とする営業部のほか、グループ各社を含め22のプログラムを実施し、223名のインターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ制度は、相互の理解を深めるだけでなく、1つのテーマにもとづいて成果が生みだせる取り組みへと定着してきました。

- ワタミ(株) 社長室広報：業務体験・ボランティア参加
- ワタミ(株) 商品本部：「わたくしキッチン」接客マニュアル作成
- ワタミ(株) 店舗開発本部：介護施設の出店候補となる立地調査
- ワタミ(株) 教育事業部：講座受講者の管理事務
- ワタミ(株) ブランド管理部：他社CSR報告書の分析
- WFS 営業部：外食店舗市場調査
- WDFS 業態企画部：新商品(創作おでん)の提案
- T.G.I.F.J 人材開発部：コーチングシステム定着の調査
- ワタミの介護 経営企画部：ホームでのレクリエーション企画
- (有)ワタミファーム 農場部門：有機農法による野菜の生産・管理
- ワタミエコロジー 環境部：店舗での電気使用量削減への取り組み

労働災害発生の原因



おもちゃの代行販売店舗数と売上

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
実施店舗数	26	39	35	27	22
売上金(千円)	1,251	1,350	1,389	860	640